

# 身近な生物



【1】 ルーペを使った観察について下のa～fにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×6

観察する対象が動かせるとき、ルーペを a( ) に近づけて持ち、b( ) を  
c( ) ピントを合わせる。また、観察する対象が動かせないときはルーペを  
d( ) に近づけて持ち、e( ) を f( ) ピントを合わせる。

【2】 顕微鏡の説明についてa～gにあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×7

顕微鏡は a( ) で b( ) が当たらない c( ) ところに置く。  
d( ) レンズ e( ) レンズの順に取り付け、f( ) 倍率から観察をはじめめる。  
d、eのレンズの倍率をそれぞれ15、30とすると顕微鏡の倍率は g( ) 倍になる。

【3】 下のア～エを、顕微鏡の操作順に並べなさい。

10点×1

- ア. 横から対物レンズを見ながらできるだけプレパラートに近づける。
- イ. プレパラートをステージに置き、クリップで止める。
- ウ. 反射鏡を調節して、視野全体を明るくする。
- エ. 接眼レンズをのぞき、対物レンズを遠ざけながらピントを合わせる。



( ) → ( ) → ( ) → ( )

【4】 スケッチのしかたとレポートの書き方について下の①～③の文章には誤りがある。

5点×3

誤っている部分に線を引き、正しく書き直しなさい。

- ① スケッチはよく削った鉛筆で、線を2重がきしたり影をつけながらはっきり書く。
- ② 観察するもの以外に、背景や周囲のものをできるだけかく。
- ③ レポートを書くときは事実以外に感想も入れておく。

【5】 顕微鏡で観察し、見たいものが右上にあるときプレパラートをどのように動かせばよいか。

5点×2

理由も書きなさい。

動かす方向 ( )

理由 ( )

年 組 名前



# 身近な生物

③

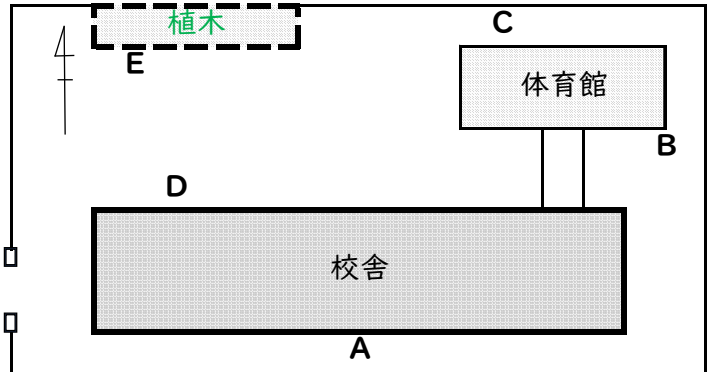
【1】 下の図はある学校の校舎周辺で植物地図を作成したときの地図である。次の問題に答えなさい。

5点×2  
10点

① 図のA～Eを日当たりが良い場所と悪い場所に分け、記号で答えなさい。

日当たりが良い ( )

日当たりが悪い ( )



10点 ② 図のEは部活でよく使う場所である。

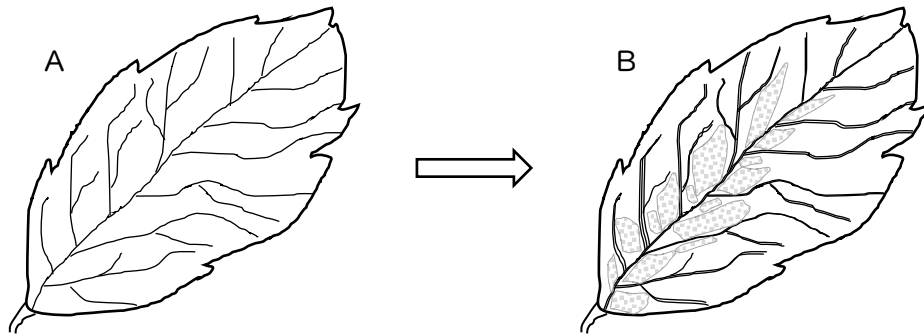
この場所で生息する植物を観察したところ2種類確認できた。  
この植物は何と考えられるか、①～⑥の中から2つ選び番号で答えなさい。

- ① ドクダミ      ② タンポポ
- ③ ヤスデ        ④ オオバコ
- ⑤ ゼニゴケ      ⑥ ハルジオン

確認できたのは ( )

【2】 下はある葉っぱをスケッチしたものである。スケッチAを書いたのち、二重線や影などを付け加えたものをスケッチBとした。次の問題に答えなさい。

10点×1  
5点×4



10点 ① スケッチの書き方として適切なのはAとBどちらか。選んだ理由も書きなさい。

適切なスケッチ ( ) 理由 ( )

② カッコの①～④にあてはまる語句を書き入れなさい。

5点×4

野外観察のときはできるだけ肌の露出が(① )服装にする。  
ルーペの観察倍率は約(② )倍である。  
ルーペで直接(③ )を見たり試料を③にかざしたりしない  
観察のときに動かしたものはできるだけ(④ )にもどす。

年 組 名前